

公益財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成30年7月1日現在

代表者名	理事長 後藤 四朗(常勤)	県所管部課	県民生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	icf-ga3@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000 千円		設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設 立 目 的	各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。 平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を継承し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館の運営を行っている。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	内 容	
事業1	大洗水族館事業(公2)	1,617,542	1,527,377	1,495,186	大洗水族館については、「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマとし、地域の自然と世界の水生生物の生態を通して、生物の多様性や自然環境・地球環境について楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えるとともに、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能が相互に連動する魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。
	全体事業に占める割合	57.2%	55.1%	55.5%	
事業2	大洗水族館売店事業(収2)	646,267	660,223	659,561	多くの人が来場する大洗水族館の利用者への利便提供のため、物販・飲食部門の運営を行う。
	全体事業に占める割合	22.8%	23.8%	24.5%	
事業3	文化振興事業(公1)	448,087	469,766	434,428	個性豊かな県民文化の振興を目的として、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。また、県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの指定管理者として、施設の運営・維持管理・使用承認等を行うとともに、利用者への利便提供等を行う。
	全体事業に占める割合	15.8%	16.9%	16.1%	
その他事業	事業1~3以外	118,111	115,765	104,842	県民文化センター利用者への利便提供として Grill・売店等の運営を行う。また、財団の運営については、評議員会及び理事会の開催により適正に経営及び事業を管理するとともに、関係機関と連携を図りながら所要の事業等を実施し、かつ健全な組織管理を図っていく。
	全体事業に占める割合	4.2%	4.2%	3.9%	
全体事業	2,830,007	2,773,131	2,694,017	指定管理者	○
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%		

< 公益財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ >

いばらき文化振興財団は、各種文化振興事業を行うことで、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的とする公益財団法人です。良質な舞台芸術公演の提供、文化活動団体等への支援・県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「大洗水族館」の運営を行い、県民の皆様へ良質な文化をお届けし、また、魅力ある施設づくりを目指しております。

文化振興事業では、歌舞伎・オペラ等厳選した公演をはじめ、県民各層の要望に沿って様々な舞台芸術を提供するとともに、児童生徒を対象に音楽や美術等の体験型講座等を行い、本県の芸術文化の振興に努めています。

県民文化センターでは、指定管理者として引き続き施設の安全性・利便性の向上を図るとともに、各種情報の積極的な提供等に努め、利用される施設を目指しています。

大洗水族館では、魅力ある企画展の開催をはじめ、イルカ・アシカの生態や健康管理方法などを解説するレクチャーライブの実施や新種のトゲツルボツルモヅル、県内生息確認初記録となるアラレフグ・ウナギギンボ等を展示するなど、展示の充実を図り、海の総合ミュージアムとしての機能を十分発揮できるよう努めています。

今後も、文化振興事業の一層の充実を図るとともに、県民文化センターと大洗水族館が多くの県民の皆様にご利用いただけますよう、施設の安全管理と積極的な事業展開に努めます。職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成31年2月 理事長 後藤 四朗

[経営状況] 公益財団法人いばらき文化振興財団 (単位:千円)

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	2,641,946	2,593,330	2,578,594	△ 14,736	
	基本財産運用益	510	314	313	△ 1	
	事業収益	2,556,345	2,513,359	2,498,269	△ 15,090	自主公演入場料収益の減
	受取補助金等	55,759	61,201	61,627	426	
	その他収益	29,332	18,456	18,385	△ 71	
	経常費用	2,830,007	2,773,131	2,694,017	△ 79,114	
	事業費	2,818,825	2,762,631	2,682,503	△ 80,128	修繕工事負担金の減
	管理費	11,182	10,500	11,514	1,014	
	うち役員人件費	15,218	15,373	15,542	169	
	うち職員人件費	764,760	769,538	762,832	△ 6,706	退職給付費用の減
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	△ 188,061	△ 179,801	△ 115,423	64,378	
	経常外収益	8,302	9,154	16,479	7,325	文化活動助成事業資金取崩額の増
	経常外費用	353	162	84	△ 78	
経常外増減額	7,949	8,992	16,395	7,403		
法人税・住民税・事業税	245	2,854	142	△ 2,712	法人税納付額の減	
一般正味財産増減額	△ 180,357	△ 173,663	△ 99,170	74,493		
指定正味財産増減額	△ 8,302	△ 9,154	△ 16,479	△ 7,325		
正味財産期末残高	2,254,167	2,071,350	1,955,701	△ 115,649		
貸借対照表	資産合計	3,131,114	2,989,340	2,794,502	△ 194,838	
	流動資産	541,236	602,229	539,942	△ 62,287	年度末普通預金残高の減
	固定資産	2,589,878	2,387,111	2,254,560	△ 132,551	施設設備修繕等積立資産の減
	負債合計	876,947	917,990	838,802	△ 79,188	
	流動負債	255,426	315,480	245,575	△ 69,905	年度末仮受金の減
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	621,521	602,510	593,227	△ 9,283	退職給付引当金の減
うち長期借入金	0	0	0	0		
正味財産合計	2,254,167	2,071,350	1,955,701	△ 115,649		
基本財産充当額	30,000	30,000	30,000	0		
県財政関与状況	補助金	55,359	58,825	60,127	1,302	
	委託料	235,457	246,358	255,192	8,834	受託事業数の増に伴う増
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	2,000	2,000	2,000	0	
	合計	292,816	307,183	317,319	10,136	
	財政的関与の割合(%)	11.0%	11.8%	12.2%	0.5	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成27年度	平成28年度	平成29年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率	74.6%	70.1%	71.4%	1.4	
管理費比率	管理費/経常費用	0.4%	0.4%	0.4%	0.0	
人件費比率	人件費/経常費用	27.6%	28.3%	28.9%	0.6	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	96.0%	95.4%	95.0%	△ 0.4	
流動比率	流動資産/流動負債	211.9%	190.9%	219.9%	29.0	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成28年		平成29年		平成30年		増減数	増減理由	
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	2	0	2	0	2	0	0		
	非常勤理事・監事	12	1	12	1	12	1	0		
	計	14	1	14	1	14	1	0		
職員	管理職	22	1	21	1	21	1	0		
	一般職	46	1	48	0	48	0	0		
	嘱託・臨時職員等	95	0	94	0	92	0	△ 2	基準日の雇用人数の違いによる	
	計	163	2	163	1	161	1	△ 2		
当期	プロパー職員平均勤続年数	16.3年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成					平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)	
			~20代	30代	40代	50代	60代		合計	6,502.5千円
			19	14	19	17	0	69	39.9歳	6,189.2千円

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	19	20	95%
計画性	8	20	20	100%
組織運営健全性	10	17	20	85%
効率性	11	11	20	55%
財務健全性	9	15	17	88%
合計	47	82	97	85%

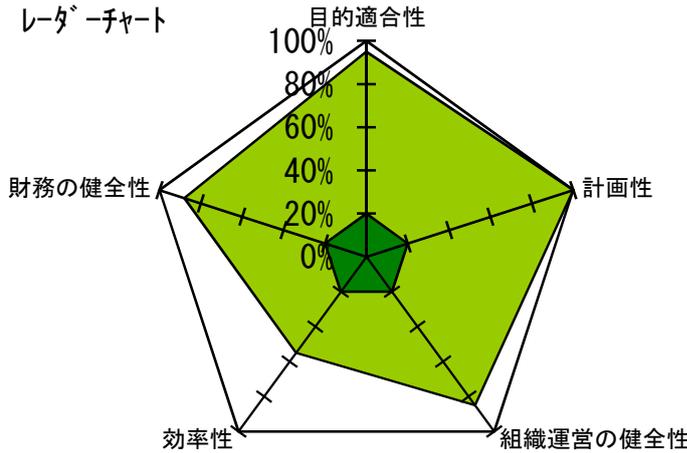
公益法人等会計用

公益財団法人いばらき文化振興財団

警戒指標

--

経営評価
レーダーチャート



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、県民文化センター、大洗水族館の運営等を行っている。施設利用者及び事業への参加者の状況から設立当初と同等以上の社会的要請があると考えられるので、今後も設立目的に沿った事業運営に努める。	文化センターの指定管理期間と整合性を取るため、平成28年度より新たに第4期中期経営計画(平成28年度～平成32年度)を策定し、事業別に目標を掲げている。 また、財団全体の収支計画を掲げ、経営評価項目に沿った計画となっており、これらの目標達成に努める。	組織運営について、階層別基本研修や自己啓発研修などを継続して実施し、人材育成、能力開発等に努めるほか、民間企業等出身者(社会人経験者)や専門知識を有するものを職員に採用し、さらなる組織の活性化及び健全性に努める。	文化振興事業、文化センター及び大洗水族館の管理・事業運営等において、これまで培ってきた知識と経験を活かし、かつ効果的な人員配置をするなど、人材を有効活用することで事業運営の効率化を図る。	平成28年度から赤字幅は縮減したものの、水族館の計画的な大規模修繕の実施により3期連続で赤字となっている。この赤字分については、特定費用準備資金等あらかじめ準備した積立資産で補填したが、今後も、修繕等に係る積立資産を確保する必要があることから、引き続き誘客促進に努め財源の確保を図る。
<p>今後の事業展開の方向</p> <p>財団予算の約80パーセントを占める水族館事業の運営が財団全体の運営に大きな影響を及ぼすため、水族館の入場者の安定確保が課題となる。そのため、展示の充実や季節毎のイベントの実施をはじめ、SNSやマスコミ等を積極活用した情報発信により、利用年齢層の拡大を図っていくほか、県内大型イベントとの連携、重点広報地域の拡大などにより誘客促進に努めていく。</p> <p>県民文化センターについては、第3期指定管理期間の3年目として、引き続きサービスの充実を図るとともに健全な管理運営に努めていく。また、老朽化が進んでいる施設の修繕に積極的に取り組み、施設の安全性・快適性の向上に努めていく。</p> <p>また、文化振興事業については、県民の要望に沿った多種多様なジャンルの公演を実施し、入場者の満足度及び入場率の向上に努めていく。</p>				

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
文化芸術団体への助成をはじめ、文化芸術に接する機会の提供、水族館による「展示・普及・研究」の3つの機能の提供など、本県の文化振興に寄与する事業を推進している。	県民文化センターの指定管理期間に合わせた中期経営計画を策定し、効率的な経営や自主財源の確保、計画的な施設整備等による利用者の利便性の向上を図り、公益財団法人として健全で責任ある経営に努めている。	中期経営計画に基づく専門研修等を積極的に実施しているほか、経営に係るコンプライアンスを確立するため、法令遵守に関する要項及びガイドラインを制定するなど、適正に運営されている。	県民文化センターの売店や Grill 等において、一部の業務を外注化する等、経費節減に努めた。引き続き、業務の効率化等による経費の節減及び職員の適正配置等に努めるよう指導していく。	大洗水族館の入館者数及び県民文化センターの利用者数は、概ね目標数値を達成することができた。引き続き誘客促進による収入確保や経費節減など、効率的な運営に努めるよう指導していく。
法人担当課の意見	大洗水族館については、展示の充実、魅力あるイベントの開催や多様なメディアを活用した情報発信により入館者数の確保に努めている。また、県民文化センターについても、多くの利用者へ質の高い文化芸術に接する機会の提供など、県民文化の振興に努めたことは評価できる。 水族館の入館者数及び文化センターの利用者数については、引き続き、一層の誘客促進やサービスの向上に努め、入館者数等の確保に取り組むとともに、効率的な運営を図り健全な運営が維持されるよう指導していく。			

[経営目標]

区分	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標値	H29実績	達成度(%)	H30目標値	
経営目標	事業成果	1 県民文化センター施設全体の利用率	%	80.0	79.7	83.0	79.6	95.9%	83.0
		2 水族館の入場者	千人	1,161	1,134	1,138	1,129	99.2%	1,144
	健全性	1 流動比率	%	211.9	190.9	203.0	219.9	100.0%	218.0
		2 自己資本比率	%	72.0	69.0	72.0	70.0	97.2%	72.0
	効率性	1 職員1人当たりの事業収入	千円	13,291	12,188	12,800	13,175	100.0%	12,900
		2							
平均目標達成度							98.5%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
総合的所見等	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する	
総合的所見等に係る対応	<p>平成29年度は、水族館事業における修繕工事負担金の減少により、当期経常増減額は△115,423千円（前期差64,378千円増）となった。</p> <p>水族館の入場者数は、112万9千人（前期差5千人減）、県民文化センターの利用者数は598千人（前期差7千人減）と減少傾向にあることから、入場者数及び利用率の増加につながる企画やPRに一層努められたい。</p> <p>また、文化センター自主事業である Grill・売店の運営については、赤字幅は減少しているものの、依然として赤字が続いていることから、Grill・売店のあり方について検討されたい。</p> <p>特定資産については、修繕工事の負担等により減少していることから、中長期的な計画に基づき、より効果的に活用されたい。</p> <p>〔 県所管課は、当該法人が指定管理等を受託し、安定的な財務運営が図られていることから、県派遣職員の削減の検討や、運営費補助金の縮減等に積極的に取り組まれたい。 〕</p> <p>水族館では、魅力ある企画展や効果的な誘客促進策の展開などにより入場者数の確保に努め、また、県民文化センターでは、利用者のサービス向上や閑散期における利用料金の割引制度の活用促進など、利用者の確保に努めるとともに、Grill・売店については、今後のあり方について抜本的な見直しを検討していくよう指導する。</p> <p>特定資産については、財団が具体的な目的及び運用基準等により管理しているが、財務状況を踏まえ、必要に応じ適正な対応を講じるよう指導する。</p> <p>また、派遣職員の削減や運営費補助金の縮減については、財団が県の文化行政の一躍を担う役割を果たしていることを踏まえ、対応していく。</p>				